

熊? おばけ?

いいえ、「かいぶつ」なんです!

アイスランドのかいぶつ絵本シリーズ

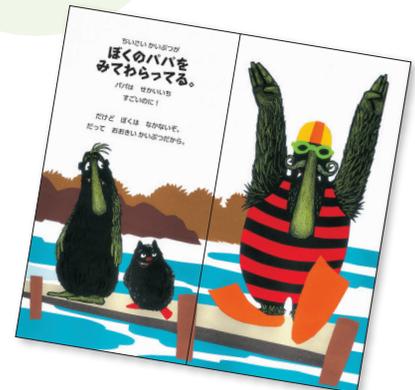
好評
発売中!



アウスロイグ・ヨウンズドッティル(絵・文)
カッレ・ギュットレル(文)
ラーケル・ヘルムスダル(文)
朱位 昌併(訳)

アイスランドの「かいぶつ」は、妖怪みたいな、おばけみたいな不思議な生き物。北欧の豊かな自然のなかで人々のすぐそばに棲みついていると言われてきました。

かいぶつ絵本シリーズ(シリーズ「おおいいかいぶつとちいさいかいぶつ」)では、「おおいいかいぶつ」と「ちいさいかいぶつ」が泣いたり笑ったり、ケンカしたり、意地悪しちったり...と、毎回、小さなハプニングが起こります。どれも子どもたちにとっては一大事! 北欧諸国でも、そして日本でも、幼稚園・保育園の子どもたちに大人気です!



シリーズ全巻いづれも
32p 縦:296mm×横:156mm
定価:¥1,800+税

かいぶつ絵本シリーズ 既刊本と刊行予定

全国学校図書館協議会選定図書

シリーズ おおいいかいぶつとちいさいかいぶつ ㉒



『おおいいかいぶつは なかないぞ!』

かいぶつにも、苦手なことがあるの? 「ちいさいかいぶつ」は、もの知り何でもできるのに、ぼく(おおいいかいぶつ)は、何にもできない! パパのことまで笑われて、ついに涙がこらえきれなくなり…。かいぶつたちのゆかいなお話絵本シリーズが、アイスランドから日本初上陸!

ISBN 978-4-910343-01-3 2022年7月15日出版

全国学校図書館協議会選定図書

シリーズ おおいいかいぶつとちいさいかいぶつ ㉓



『まっくらやみのかいぶつ』

かいぶつにだって、かわいいものがあるらしい?! 「おおいいかいぶつ」と「ちいさいかいぶつ」は勇気を出して、謎の「おばけ」を追いはらいます。でも、本当におばけだったのかな…? アイスランドのかいぶつ絵本シリーズ、日本上陸第2弾!

ISBN 978-4-910343-02-0 2022年12月1日出版

刊行予定

シリーズ おおいいかいぶつとちいさいかいぶつ ㉔



『かいぶつ かぜ』

風邪をひいたおおいいかいぶつのところへ、ちいさいかいぶつがお見舞いに行きます。お見舞いのお花やフルーツにも、読んであげた絵本にも、おおいいかいぶつは文句ばっかり! おおいいかいぶつが元気になるにつれ、ちいさいかいぶつは具合が悪くなってきて…。

ISBN 978-4-910343-03-7 2023年11月1日出版予定

原作者（写真左から）



カッレ・ギュットレル (Sweden)、ラーケル・ヘルムスダル (Faroe Islands)、
アウスロイグ・ヨウンストッティル (Iceland)

2001年メーラレン湖（スウェーデン）に浮かぶ1000を超える島々のひとつ、ビスコプス・アーヌー島で、北欧の作家と画家が参加するワークショップが開かれた。このとき作者3人は出会い、おおきいかいぶつとちいさいかいぶつの絵と物語が生み出された。

Skrímsli（アイスランド語で「かいぶつ」や「ばけもの」を指す）絵本シリーズ10巻（既刊）はいずれも、アイスランド語、スウェーデン語、フェロー語で同時に創作・出版され、その後、多数の言語に翻訳されている。アイスランド本屋大賞（児童文学部門）、アイスランド文学賞（児童文学部門）、スウェーデン児童文学賞（Bokjurynen 2008銀賞、Bokjurynen 2010銅賞）、フランス児童文学賞（Prix des Incorruptibles 2012銅賞）、IBBYオナーリスト（画家賞2016）ほか、受賞・ノミネート多数。作者らが手がけた、同シリーズの児童劇もある。

翻訳者

朱位 昌併 (AKAKURA Shohei)

アイスランド首都レイキャヴィーク在住。アイスランド大学大学院でアイスランド文学を研究し、翻訳や辞典の編集に携わるほか、アイスランド公認ガイドの資格ももち、氷河や大自然を旅する。初めての翻訳絵本『さむがりやのステーナ』平凡社が人気を博し、かいぶつ絵本シリーズ『おおきいかいぶつはなかないぞ!』『まっくらやみのかいぶつ』『かいぶつかぜ』をゆぎ書房より刊行中。左右社公式noteの連載エッセイ「霜柱を踏みしめてアイスランド、土地と言葉と物語」も好評掲載中。



『おおきいかいぶつは なかないぞ!』を読み聞かせしてみました!

みなさまからの声

- おおつぶの涙を流して大泣きするおおきいかいぶつが、子どもたちには面白かったみたい。子どもたちって普段から、「大きいんだから、泣いちゃダメ!」と言われることが意外にも多いんですね。
(幼稚園教諭/年少・年中・年長の混合クラスにて)
- 子どもたちの世界では、「大きいものは強い」が絶対なんです、その固定観念を崩されるのが楽しいみたいです。
(保育教諭/年中クラス)
- 「かいぶつ」と聞いて、こわごとと絵本を開きましたが、可愛らしいかいぶつで、子どももホッとした様子。真っ黒な姿が気になって、しきりにページ上のかいぶつの姿をなでています。
(母/3才女の子)

ゆぎ書房の絵本

「シュクメルリの国」
ジョージアの
絵本



『シマをなくしたシマウマとうさん』

ソポ・キルタゼ (作) 前田君江 & 前田弘毅 (訳)

ある日のあさ、シマウマとうさんは、じぶんの体のシマがいったん、消えていることに気づきます。つぎの日も、そのまたつぎの日も、シマはどんどん消えていきます。

「シマのないシマウマなんて、みっともないにきまつてる!」と、やけっぱちになるとうさん。そんなとき、高所恐怖症のキリンに出会って…。自分に思い悩む、すべての人に贈る絵本です。

ISBN 978-4-910343-00-6 44p 縦:206mm×横:262mm
2021年8月27日出版 定価: ¥2,000+税